

竹取新聞

株式会社 カグヤ

東京都新宿区西新宿3-2-11

新宿三井ビルディング

2号館10階



第51版

理念と実践で
絆を結びます

平素より弊社の商品をご愛顧頂きましてありがとうございます。この新聞は、「子ども第一主義」の理念をカグヤクルーの日々の出来事からの内省を発信することで、皆様の保育に少しでもお役に立てればと始めたものです。記事中はそのまま実践を表現することを優先し、乱筆乱文で恐れ入りますが、何卒ご容赦くださいますようお願いいたします。

見守り合う関係

福岡県糸島市のるんびに
保育園様へお伺いしました。

副園長の檜崎先生に最近の話を聞きすると「以上児のお泊り保育の内容を子ども達同士で話し合っている」ということや、「ゾーンの使い方やルールも子ども達が話し合い、平仮名を書ける子どもが紙に書いて先生に提案してくる」ことなど、子ども達が「自治」出来るような環境が園として定着してきていることを教えて頂きました。その際に印象的だったのが、「子どもがしたいという事には『何か意味がある』と考えること」を大切にしていることです。『子どもを尊重する、子どもの役に立つ、子どもの気持ちをくみ取る』という事を大人が基本として持っていることを大事にしたいんです。」という言葉でした。



見守り合う関係から生まれる「今」が「未来」をつくります。

檜崎先生は大人同士の関係性についても同じことだと仰います。檜崎先生自身もまず職員に同じ考えで実践することが大切で、「みんなを楽しく生きていくのではなく、大変でも、それでもこの保育をやっている。そこをまず信じる事。ミスをして怒らない。必ず理由があるのだから。」そんな職員への見守りの姿勢が、先生方の顔の輝きに現れていました。

私達もそんな見守り合う実践を大切にしていきたいと思っています。

自分のあり方を見直す



素直な想いが響き合っています。

園内研修のため、京都の鞍馬寺にある鞍馬山保育園様へお伺いしました。

研修では、実際に子どもの視点を体験できるアクティビティや、子どもの発達チェックのワークショップを通して、皆で園の理念を軸に、自分のあり方を見直し、改めて「発達を見る」ことについて学んでいきました。研修の最後には、皆で「研修での気づき」を共有する場面がありましたが、その中の発言には、「相手の気持ちを考えていきたい」という言葉が印象的でした。

「これまででは自分が分かっている方ばかり先走っていたので、そうではない方を選びたい」「自分に矢印を向けながら、皆で一つの方向を見てやっていきたい」等、相手ではなく自分を変えていこうとする発信ばかりで、その素直で謙虚な姿に、とても美しさを感じました。

そして、職員の皆様が鞍馬山保育園の理念「みんなのいのち輝く保育園」を目指し、毎日試行錯誤しながらも、着実に前進している姿から、相手ではなく自分を変えていこうとすることでの、学びの深さ、成長の大きさを目の当たりにしました。

私たちも、日々自分のあり方を見直していくことを忘れずに、邁進していきたいと思います。

変わらぬ想い

東京都港区の愛宕保育室様へ見守るほいくソフトの導入研修でお伺いしました。

こちらは10月1日に開設された園で、同法人には茨城県の下保保育園様がごいます。昨年は東京都江東区に1園、今年は港区に1園開園し、理事長の中島先生は法人内のどの園でも「子どもたちの発達を見ていくこと」を大事にされ、今回ソフトの導入を頂きました。

開園日もあった研修当日、中島先生から現場の先生方へ「先生方は手書きで書類を書くことは上手だが、



園のすぐ隣には、子どもたちの未来を見守る愛宕神社。

一人ひとりのことを書くこととすると主観が入り、情緒的になってしまふ。客観的なことが把握出来るように、ソフトを使って発達を見ていってほしい。発達から見ていないと手を出してしまふ、待つのが難しい。つい子どもたちが可愛いからやってあげたくなるが、子どもを見守るためには待つことが大事。」と、これから園で大切にしていってほしいことを話されました。

以前にも姉妹園にて、中島先生の子どもの想い、そして現場の先生方への想いを伺っており、今回改めて中島先生の変わらぬ想いに触れさせて頂く機会を頂きました。

ソフトを用いて中島先生の想いを実現していけるよう、私たちも皆様のお役に立てればと思います。

CCN

Caguya Company News

カグヤニュース

※カグヤでは、クルー同士別々の場所においても、互いの気持ちや様子が共有できるよう、「カグヤニュース」という社内報を毎日メール配信しています。ここでは、その中から一部を抜粋して、日々の実践をご紹介します。

旧暦カレンダー

旧暦の日めくりカレンダーを使っています。

旧暦には一年を72等分した「七十二候」があり、気象や動植物の季節の変化について、短い文章にまとめられています。この情報は、毎日のカグヤニュースで掲載し、クルー同士で共有しています。

以前より、日常の自然に目をむけることが多くなったように感じます。季節の室礼や行事だけでなく、普段の生活の中でも季節の巡りを発見していけたらと思っています。



毎朝楽しみにめくっています。



日々と季節の巡りをセットに...

発酵甘味料・米あめ

先日社内では発酵の甘味料「米あめ」を造りました。

米あめは、大麦と白米を混ぜて一晩寝かせ、その絞り汁を煮詰めてできた、自然の甘味料です。完成までに時間が掛かりますが、早速料理やお菓子に使っています。

米あめは、ビタミンやミネラルを豊富に含み、砂糖よりもゆっくりと体に吸収されるため、身体への負担が少ないと言われています。身体に優しく、自然なものを楽しんで選んでいきたいと思っています。



絞り汁を煮詰めると黄金色の米あめが完成します。



火に掛けると甘い香りが...

中秋の名月

9月19日、今年は十五夜の日に満月を見ることができました。

中秋の名月を観賞することは、月を神聖な神として崇め、農民が秋の収穫物をお供えし五穀豊穡をお祝いし、感謝する祭りだったそうです。



米粉を蒸して、団子にします。

早速、社内でもお月見団子を作り、飾りました。お飾りにはススキと今年取れた小麦を添え



上：お客様のお持ち帰り用



下：団子を飾り、満月が出るのを心待ちにしています。

子ども目線

今月、全体会議の日に「子どもの視野と視界」の体験を行いました。

6歳児の場合、垂直方向の視野は大人が約120度に対して、子どもは70度、水平方向は大人約150度、子どもの視野は90度なのだそうです。

この視野を体験しながら、昼食の



正面を向いていると口元が見えません。



視界が限られ、目の前のことだけに集中します。

一期一会庵

ご縁とご恩

私事になりますが先日、中学校時代のバレーボール部の恩師の退職祝がありました。

ずっと年始のハガキで御互いに近況をお伝えするだけでしたが24年ぶりにお会いした恩師は今でも懐かしい思い出の中のお人柄そのものでした。

教える子たちに見守られ、御祝をされる様子に「先生」という御仕事の素晴らしいさに感動していました。

「縁をいただいたのは数年間でしたが、これまでの人生になくはない初心を与えてくださいました。

人は初心というものに会おうとき、そこに必ず「縁」とご恩に感謝するようになっています。

今では、その恩師が私に指導してくださった年齢と同じになっている自分が居

配ぜん準備や、実食を行ってみたいです。

大人が見える感覚と違い、子どもたちの視界で生活してみると、探し物が上手く見つからなかったり、食べ物をこぼしてしまったり：普段行っている身動きが難しいことを実感します。

全く同じ体験ができなくとも、相手の抱えている困難を感じることで、気持ちに寄り添って自然と手助けや見守ることができたらと思っています。

ます。

「プレーをつくるのではない、人間をつくるのだ」という恩師の言葉に改めて自らの生き方を見直そうと決心いたしました。

子どもたちと関わるのは、「今」だけであるからこそ未来のために生き方を見つめ大切なものを伝承し推奨していきたいと思っています。

常に初心を大切にしながら戴いたものを大きくして社会へ恩返ししていきたいと思っています。

編集後記

竹取新聞をご覧いただきまして、誠にありがとうございます。

今月も一日一日沢山のご縁を頂きました。今に感謝し素直に受け止めながら、「未来」をつくりていきたいと思っています。

寒くなってきましたので、お身体に気を付けてお過ごしください。

カグヤは「子ども第一主義」の理念を実践し、お客様の発展と自立に貢献していきます。

caguya
株式会社 カグヤ

本社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビルディング2号館10階
tel.03-5909-7155
fax.03-5909-7199

カグヤウェブセンター
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-17
東京堂神保町第3ビルディング8階
tel.03-3518-6217
fax.03-3518-6218

☎フリーダイヤル 0120-917-389
URL: <http://www.caguya.co.jp>
E-mail: support@caguya.co.jp
受付時間 月～金 9:00～18:00
(土・日曜祝祭日を除く)